

報告

GPS波浪計 設置工事に着手

GPS波浪計は、港湾整備（設計・施工等）に必要な波浪等の海象情報を取得するため、沖合に浮かべたブイの上下変動をリアルタイムで観測するもので、現在、全国的に整備が進められています。

また、地震発生時には沿岸部よりも早く津波を検知できるため、東南海・南海地震等の津波に対する迅速な観測と、情報伝達が可能となります。

当事務所では、平成21年度中の設置を目指し、徳島県南部沖（沖合約20km、設置水深約430m）で設置工事に着手し、準備を進めています。

設置後は、観測データの検証を行い、早期の本格運用を図ることで、関係機関と連携した防災対策に役立てられることが期待されます。



↑ GPS波浪計システムの概要

報告

NHK朝ドラ 美波町が舞台に！

今年後半のNHK朝の連続ドラマ小説「ウェルかめ」は、アカウミガメの産卵地として知られる美波町や阿波踊りで有名な徳島市を舞台に、5月下旬頃より撮影が開始されます。

美波町では、平成19年度より、美波みなとまちづくり協議会（会長：森本日和佐道の駅駅長）を設立し、キャンドルナイトや魚市&カラフルフリーマーケットなどのイベントを実施し、にぎわいづくりの活動が進められています。

この朝ドラのロケ地をきっかけとして、住民自身がまちの良さを再発見し、継続したみなとの賑わいづくりの活動がより一層進展するよう、当事務所も支援していきます。



↑ アカウミガメが上陸する大浜海岸（美波町）

読者のみなさん、こんにちは。事務所長の河西です。

今号から紙面を刷新した新たな「あわみなと通信」をお届けします。引き続きご愛読よろしくお願いいたします。

3月に入り、日増しに春の気配が濃くなってきましたが、日本の経済は100年に1度と言われる程の危機的な状況であり、経済対策としての公共事業の重要性が再認識されているところです。当事務所においても港湾、海岸、空港と幅広い事業を実施しておりますが、早期発注に努め、皆様方の期待に応えていきたいと考えています。

4月に入れば、新しい年度がスタートします。徳島飛行場では来年春の供用のための工事を完成させるとともに、徳島小松島港では沖洲（外）地区の複合一貫輸送ターミナル整備事業に着手します。また、撫養港海岸においては一日でも早く地域の方々が安心して生活ができるよう事業進捗に努めてまいりますので、引き続きご理解、ご支援のほどよろしくお願い致します。

小松島港湾・空港整備事務所長 河西 博



出前講座の申し込み受付中！

当事務所では、海と空の「みなと」のこと、また当事務所の仕事について、広く皆さんに知っていただくために、出前講座（みなと学習、環境学習、防災学習）を開講しています。

楽しく学べる当事務所の出前講座、現場見学会のご依頼を受け付けています。



出前講座、現場見学のお問い合わせは…

当事務所 **TEL (0885)32-3357** または、
ホームページ「暮らしを支える港湾と空港の話」

<http://www.pa.skr.mlit.go.jp/komatsushima/>

より、お問い合わせください。